



2022年3月期 第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要(連結)
2. 通期の業績見通し
3. 当社の経営戦略

2021年11月10日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

1

第2四半期決算の概要(連結)

1) 当第2四半期の決算概要

	前第2四半期 累計 (2020/9)	当第2四半期 累計(2021/9)					対前年同期 増減率(%)
		期初予想	8月4日 修正予想	9月14日 修正予想	実績		
売上高	87,240	88,500	96,000	100,000	102,343	17.3	
国内売上高	56,248	-	-	-	65,164	15.9	
海外売上高	30,992	-	-	-	37,178	20.0	
売上総利益 (売上総利益率)	44,357 50.8%	-	-	-	54,487 53.2%	22.8	
営業利益 (営業利益率)	8,758 10.0%	6,500 7.3%	11,000 11.5%	15,000 15.0%	17,414 17.0%	98.8	
経常利益	8,215	6,500	11,000	15,000	17,990	119.0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,826	4,500	7,500	10,000	12,294	111.0	

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: +16%

← 自社品
売上比率: 2020/9 69.0% → 2021/9 72.2%

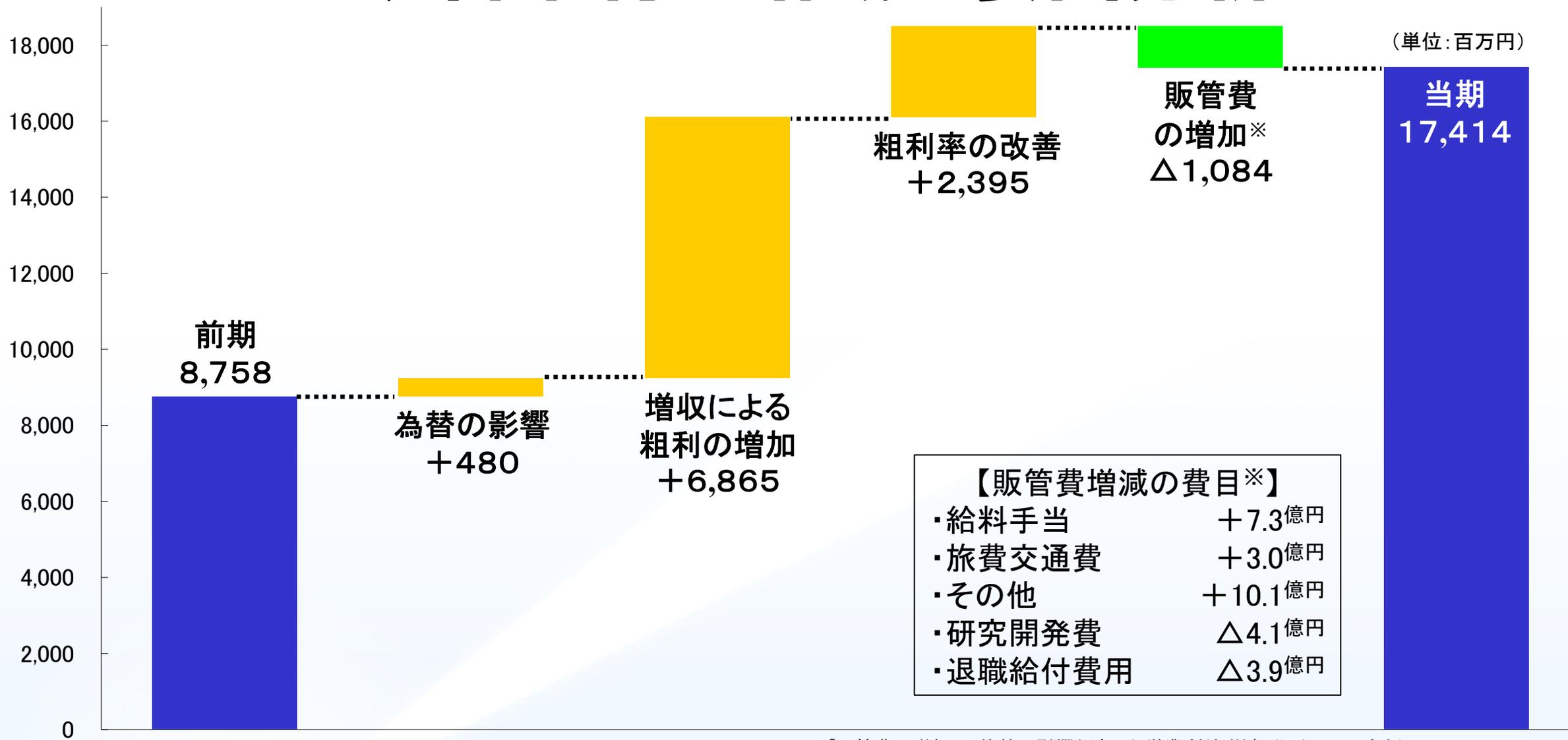
← 販管費: 355億円 → 370億円
販管費率: 40.8% → 36.2%

← 為替差損益 差損825百万円 → 差益296百万円

平均レート	(2020/9)
1米ドル	106.9円
1ユーロ	121.3円

	(2021/9)
	109.5円
	131.1円

2) 営業利益増減の要因分析



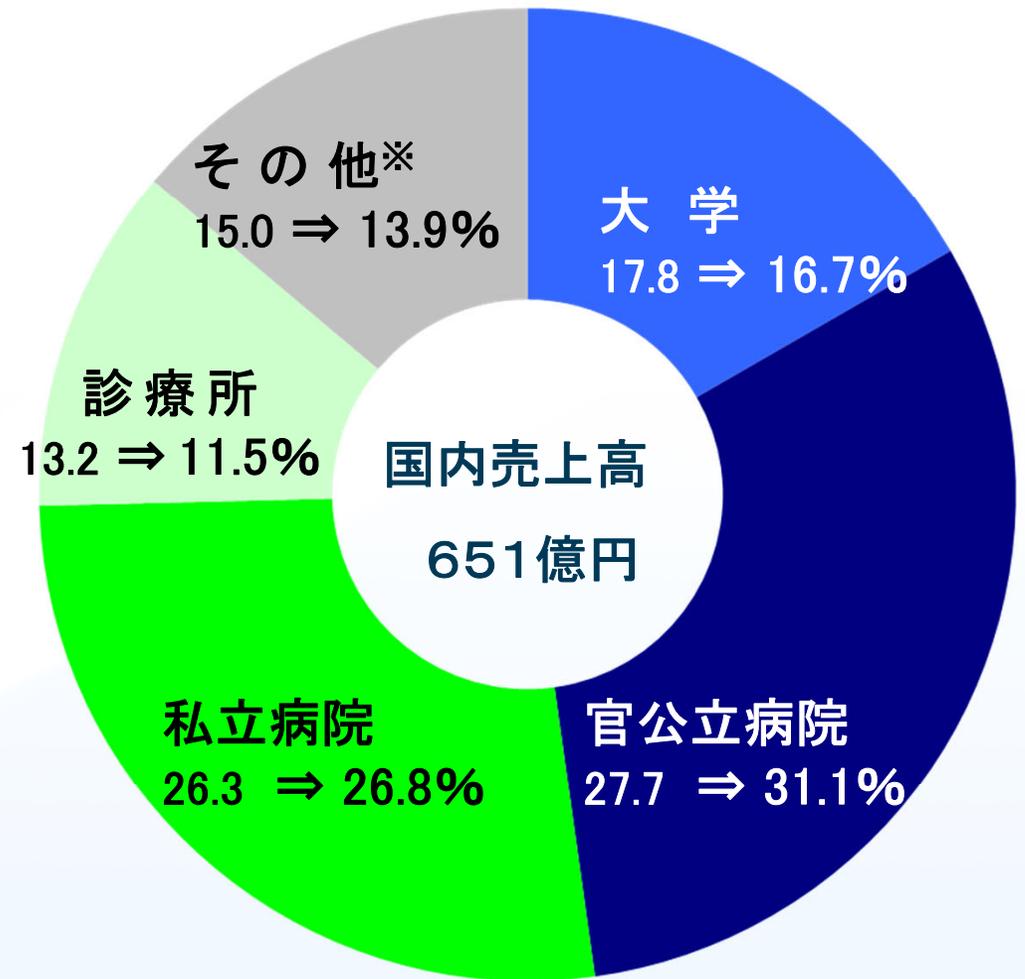
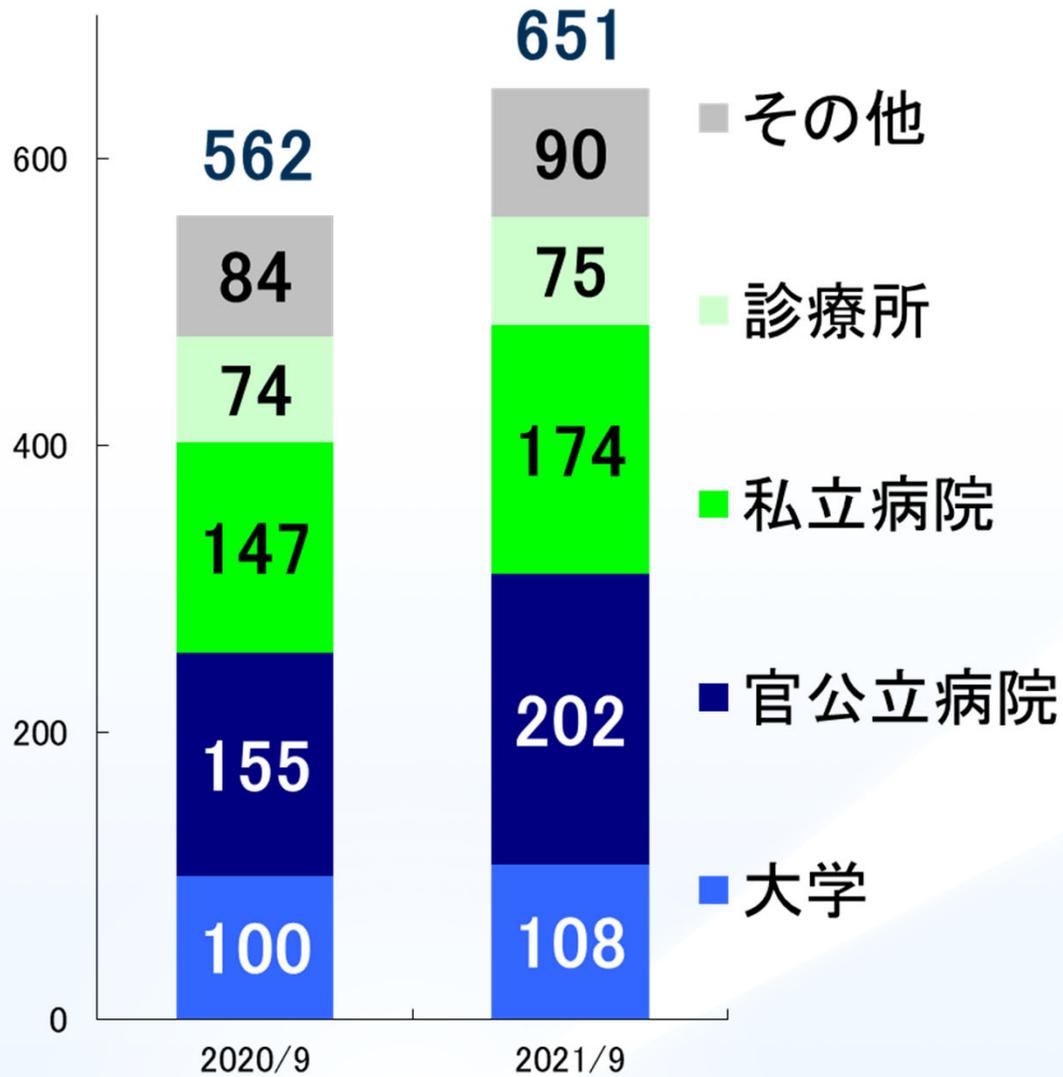
※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

3) 国内売上高

【市場別売上高】

市場別売上構成比
(2020/9⇒2021/9)

(億円)

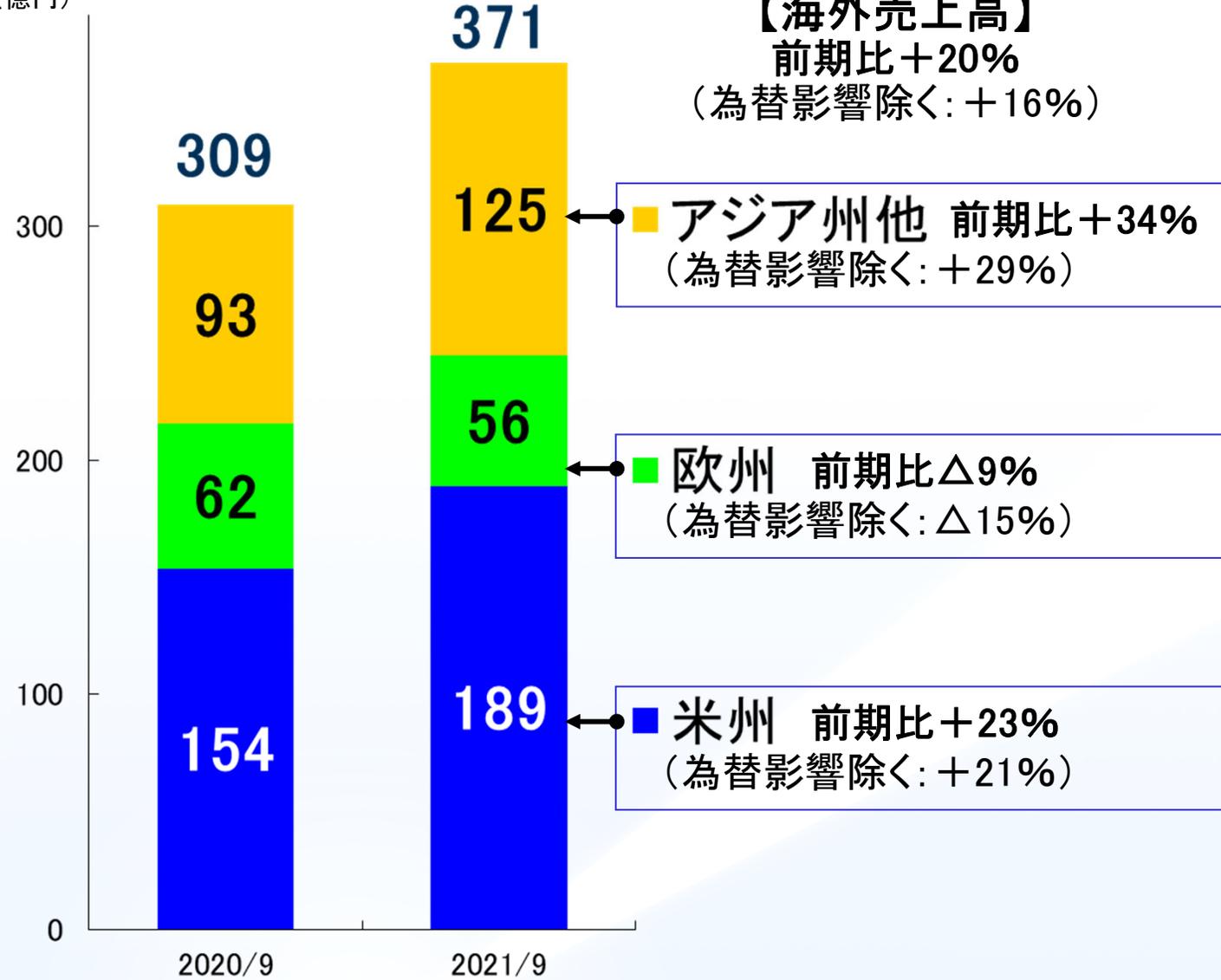


※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

4) 海外売上高

【地域別売上高】

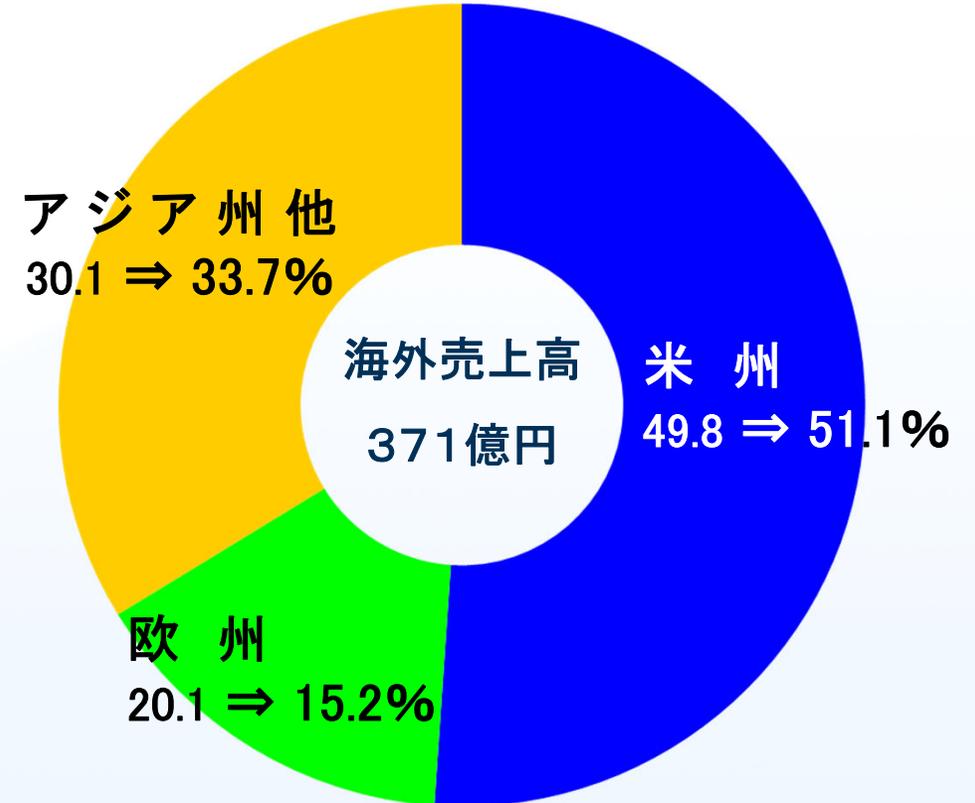
(億円)



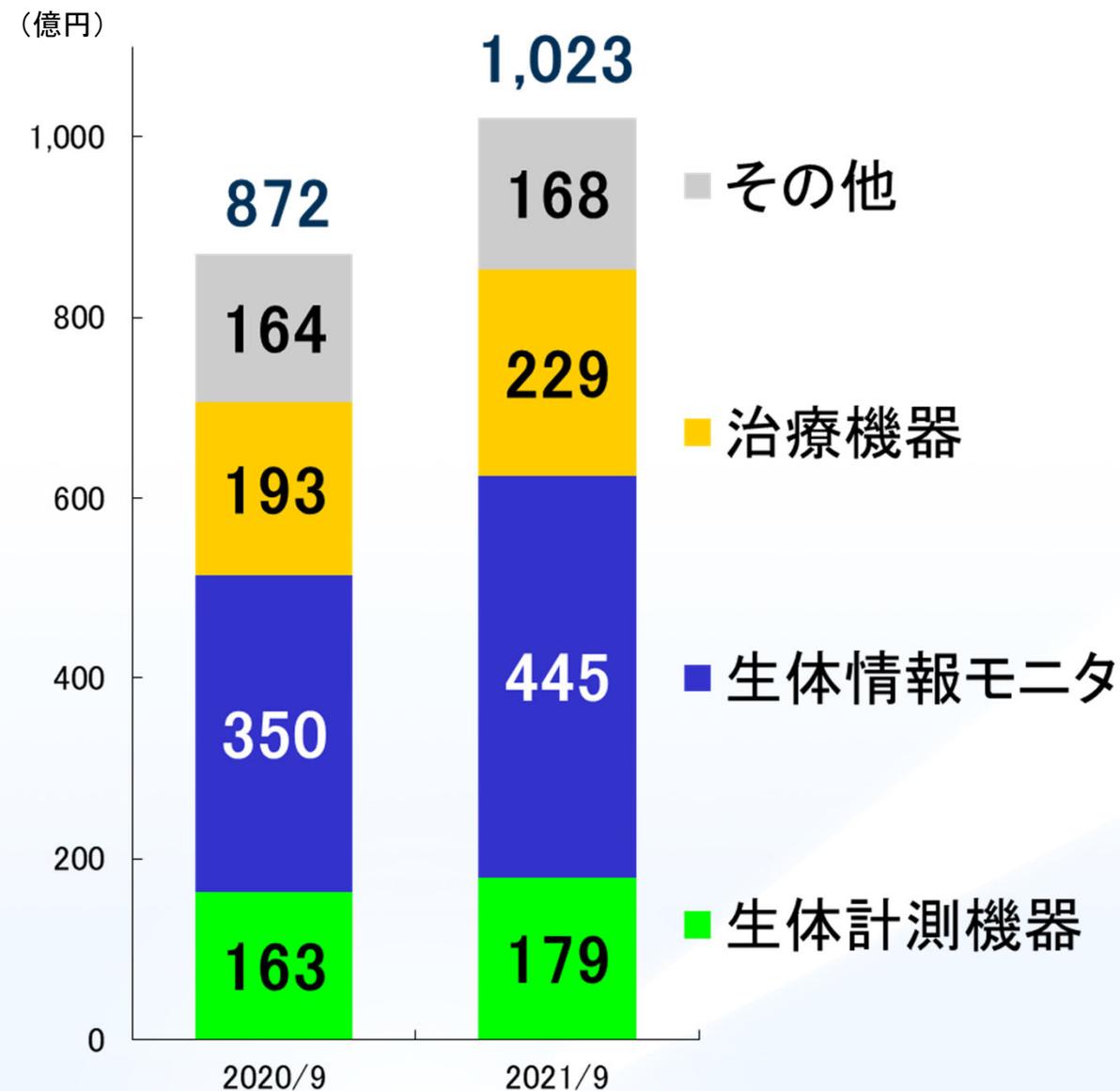
海外売上高比率

2020/9	2021/9
35.5%	36.3%

地域別構成比
(2020/9⇒2021/9)

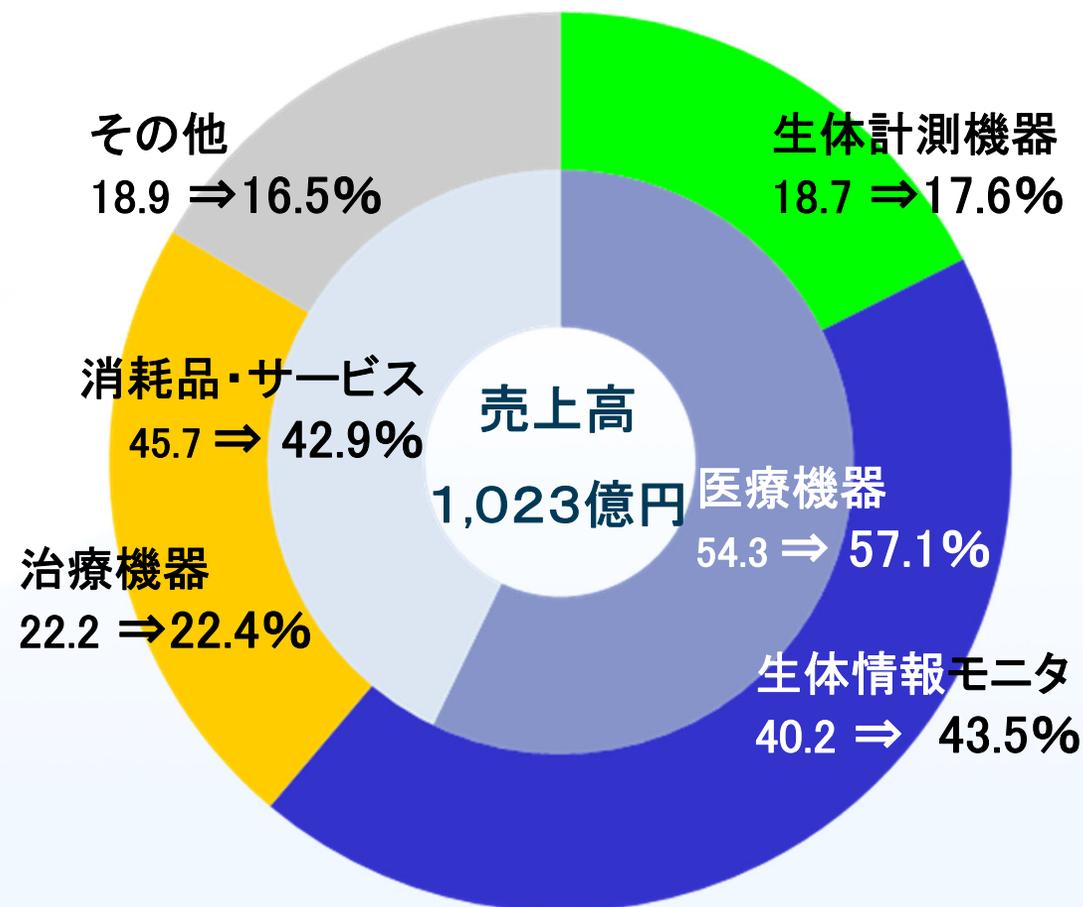


5) 商品群別売上高



商品群別売上構成比

(2020/9⇒2021/9)



5.1) 生体計測機器

	前第2四半期 累計(2020/9)	当第2四半期 累計(2021/9)	増減率(%)
脳神経系群	2,666	3,318	24.5
心電計群	2,962	3,254	9.9
心臓カテーテル検査装置群	6,907	6,424	△ 7.0
その他(診断情報システム等)※	3,814	5,000	31.1
生体計測機器合計	16,350	17,998	10.1
うち国内売上高	12,625	13,371	5.9
うち海外売上高	3,724	4,627	24.2

(単位:百万円)

診断情報システム、心電計群が二桁成長。脳神経系群も好調に推移。心臓カテーテル検査装置群は現地仕入品の減収影響を除くと二桁成長。パルスオキシメータの需要も増加。

脳神経系群が米国、中国で回復、欧州で好調に推移。心電計群は前年同期並み。

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計
EEG-1290



筋電図・誘発電位
検査装置 MEB-9600



心電計
ECG-3350



ホルター心電計
RAC-5000



臨床用ポリグラフ
RMC-5000



医療介護ネットワーク
システム LAV-1000



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

消耗品関連

5.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2020/9)	当第2四半期 累計(2021/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	35,067	44,546	27.0
うち国内売上高	17,276	23,806	37.8
うち海外売上高	17,790	20,740	16.6

送信機、ベッドサイドモニタが大幅増収。
臨床情報システム、センサ類など消耗品
も二桁成長。

米国、中南米、インド、東南アジアで大幅
増収。欧州、中国、中近東は前年同期の
需要急増の反動により減収。



CSM-1501 CSM-1502 CSM-1701 CSM-1702

ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700



ベッドサイドモニタ
PVM-4000



スポットチェックモニタ
SVM-7200



医用テレメータ
WEP-1200



esCCO対応
SpO₂プローブ



cap-ONE
マスク



心電図
電極

消耗品関連

5.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2020/9)	当第2四半期 累計(2021/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	3,049	4,137	35.7
A E D	6,885	8,713	26.6
ペースメーカー・ICD	1,366	1,288	△ 5.7
人工呼吸器	5,317	5,381	1.2
その他の	2,705	3,443	27.3
治療機器合計	19,324	22,965	18.8
うち国内売上高	12,277	14,321	16.6
うち海外売上高	7,047	8,644	22.7
(参考) AED販売台数	39,400台	54,300台	37.8
うち国内販売台数	28,200台	29,600台	5.0

【国内】更新商談の受注により好調に推移。
 【海外】アジア州他、欧州で大幅増収。

【国内】更新商談の受注もあり好調に推移。
 【海外】全ての地域で需要が回復。

【国内】感染再拡大を受け、ハミルトン社製、
 自社製ともに大幅増収。
 【海外】前年同期の需要急増の反動により
 減収。感染再拡大した中南米、インド、東南
 アジアでは需要が増加。



除細動器
EMS-1052

NEW!



AED
AED-M100



パルスチェッカー
PLS-1100



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
NKV-550



人工呼吸器
NKV-330



人工呼吸器
HAMILTON-C6

5.4) その他

	前第2四半期 累計(2020/9)	当第2四半期 累計(2021/9)	増減率(%)
検体検査装置	4,451	5,136	15.4
画像診断装置、 研究用機器他 [※]	12,047	11,695	△ 2.9
その他合計	16,499	16,832	2.0
うち国内売上高	14,068	13,666	△ 2.9
うち海外売上高	2,430	3,166	30.2

(単位:百万円)

自社品販売の注力により、現地仕入品が減収。検体検査装置は好調に推移。

全ての地域で血球計数器・試薬の需要が回復。

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

NEW!

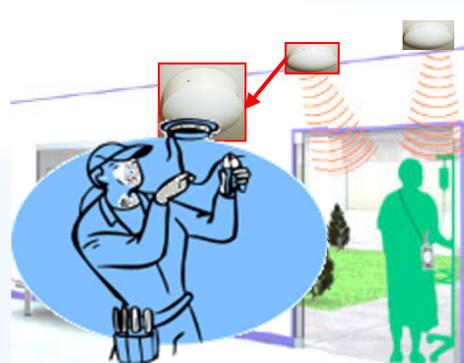


全自動血球計数器
MEK-9200

NEW!



全自動血球計数・
赤血球沈降速度測定装置
MEK-1305



設置工事・保守サービス

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2021/3	当第2四半期末 2021/9	増減額		前期末 2021/3	当第2四半期末 2021/9	増減額
流動資産	156,140	151,240	△ 4,899	流動負債	50,608	39,089	△ 11,518
たな卸資産	38,887	40,056	1,169	有利子負債	350	350	—
有形固定資産	20,193	19,558	△ 634	固定負債	3,436	3,520	84
無形固定資産	2,329	3,693	1,364	純資産	138,986	147,144	8,158
投資その他資産	14,366	15,261	894				
資産合計	193,030	189,754	△ 3,276	負債・純資産合計	193,030	189,754	△ 3,276
たな卸資産回転月数	4.8カ月	4.8カ月		自己資本比率	72.0%	77.5%	

7) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2020/9)	当第2四半期 累計(2021/9)	2021/3 前期実績	2022/3予想	
				期初	11月8日修正
設備投資額	1,472	814	3,524	4,100	4,100
減価償却費	1,496	1,561	3,236	3,800	3,800
研究開発費	3,069	2,658	6,357	6,600	6,300

●2022/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備

2

通期の業績見通し

1) 経営環境

ワクチン接種の進展により景気は回復基調にあるものの、
変異株の感染拡大、部品供給のひっ迫状況を注視

国内

新規感染は減少傾向、感染再拡大に
備え医療提供体制整備が継続

• 新型コロナウイルス感染症緊急包括
支援交付金: 2021年12月末まで

- 新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築、集中治療体制の強化
- 医療機能の分化・連携、地域包括ケアシステムの推進
- オンライン診療、遠隔ICUの推進

• 地域医療介護総合確保基金 2021年度1,179億円(医療)

海外

欧米諸国

- 医療のDXが加速
- 活動制限が緩和され、景気は回復基調

中国

- 医療機器の国産優遇の動きを注視
- 景気減速の懸念

新興国

- 一部地域で変異株の感染拡大、
景気回復遅れの懸念

2) 通期の業績見通し

	2021/3 前期実績	2022/3予想			増減率 (%)
		期初	8月4日修正	11月8日修正	
売上高	199,727	185,500	190,500	201,000	0.6
国内売上高	137,274	128,000	130,500	136,500	△ 0.6
海外売上高	62,452	57,500	60,000	64,500	3.3
売上総利益 (売上総利益率)	102,233 51.2%	92,100 49.6%	95,700 50.2%	104,000 51.7%	1.7
営業利益 (営業利益率)	27,094 13.6%	16,000 8.6%	18,000 9.4%	25,500 12.7%	△ 5.9
経常利益	28,374	16,000	18,000	25,500	△ 10.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,243	11,000	12,000	17,500	△ 4.1
海外売上高比率	31.3%	31.0%	31.5%	32.1%	

(単位:百万円)

← 為替影響除く: △1%

【地域別海外売上高】

	2021/3 前期実績	2022/3予想			増減率 (%)
		期初	8月4日修正	11月8日修正	
米州	30,288	29,000	29,800	31,500	4.0
欧州	13,139	9,500	9,600	10,000	△ 23.9
アジア州他	19,024	19,000	20,600	23,000	20.9
海外計	62,452	57,500	60,000	64,500	3.3

平均レート

1 米ドル	105.9円	105円	108円	110円
1 ユーロ	123.1円	125円	128円	130円

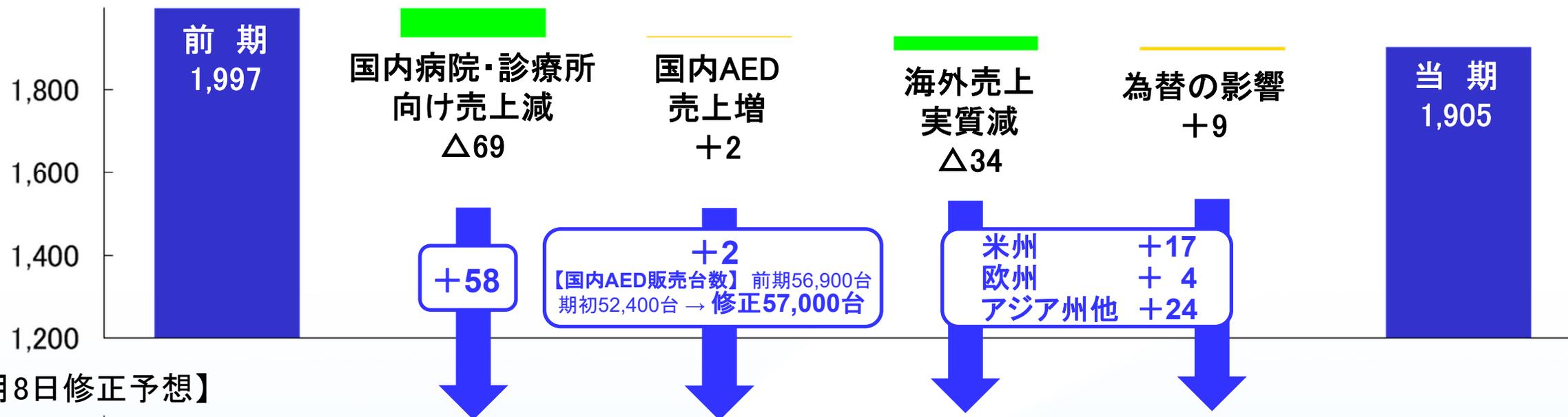
(下期)

110円
130円

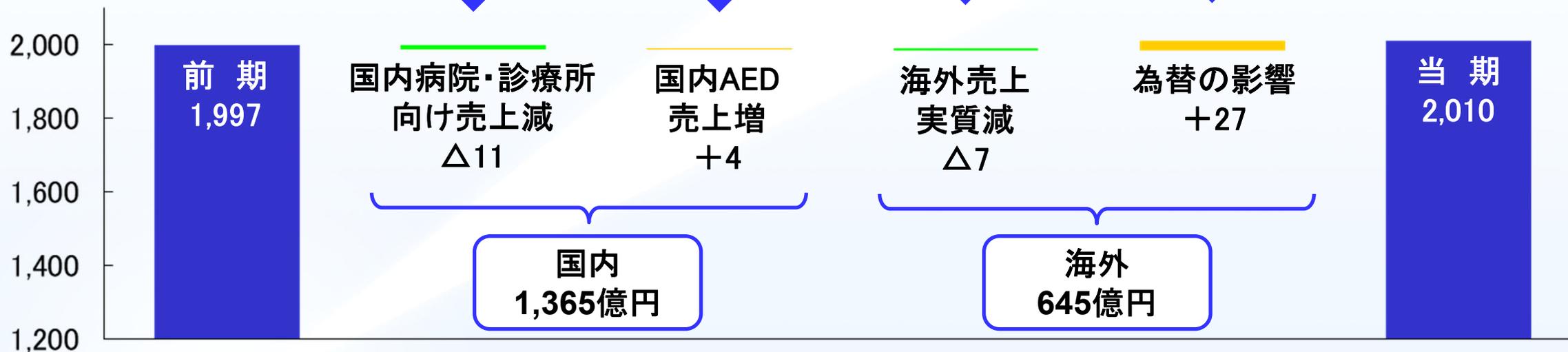
3) 売上見通しの要因分析

(単位: 億円)

【8月4日修正予想】



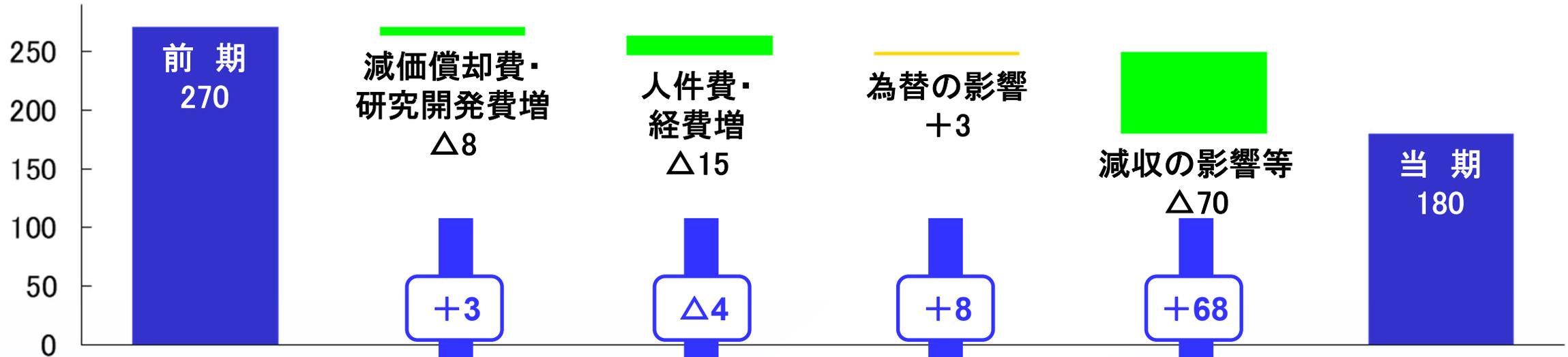
【11月8日修正予想】



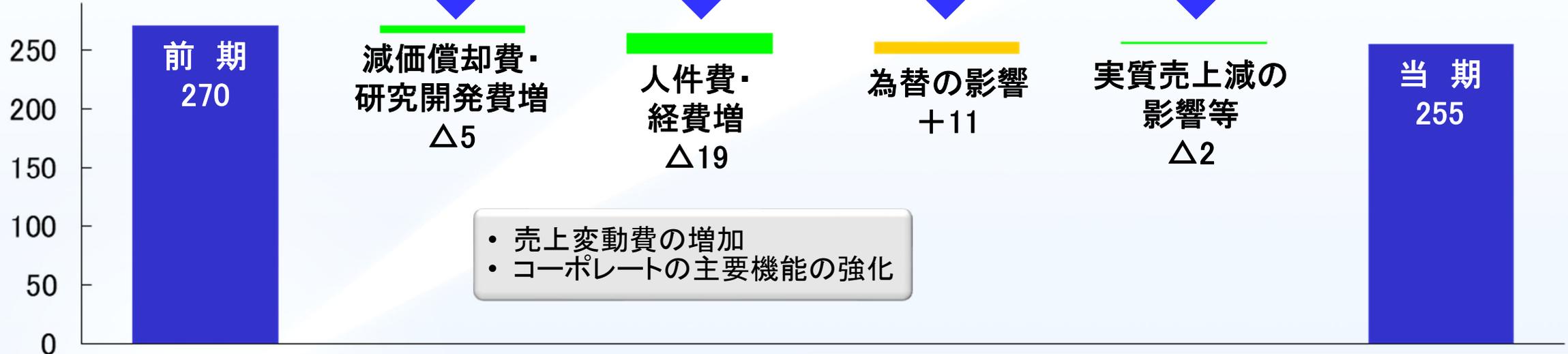
4) 営業利益見通しの要因分析

(単位: 億円)

【8月4日修正予想】



【11月8日修正予想】



[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2021/3 前期実績	2022/3予想				増減率(%)
		期初	8月4日修正	11月8日修正	構成比(%)	
生体計測機器	37,586	40,700	40,900	40,600	20.2	8.0
生体情報モニタ	78,818	70,900	74,300	80,750	40.2	2.5
治療機器	45,126	36,100	37,150	41,450	20.6	△ 8.1
その他	38,196	37,800	38,150	38,200	19.0	0.0
売上高合計	199,727	185,500	190,500	201,000	100.0	0.6

(ご参考)

消耗品・サービス	85,890	87,200	89,700	91,400	45.5	6.4
----------	--------	--------	--------	--------	------	-----

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.7億円	1.4億円
ユーロ	0.7億円	0.3億円

3

当社の経営戦略



おかげさまで日本光電は 創立70周年を迎えました

人と医療の
より良い未来を創造する



創業時の12名のメンバー



創業者 荻野 義夫



日本光電の歩み：
<https://www.nihonkohden.co.jp/70th/index.html>

これまでの歩みと私たちの思いを、
ぜひ動画でご覧ください。

長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

グローバル共通価値基準

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

中期経営計画 基本方針

事業と企業活動を通じてサステナビリティを推進

経営

コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化により、経営基盤を強化する。

事業

既存事業の収益性を改善することで得た原資により、戦略的な先行投資を実施し、新たな成長への種を蒔く。

組織

グローバルSCMの構築とコーポレートの主要機能の強化により、グローバル成長の礎を築く。



サステナビリティの推進



アドバイザリーボードを設置

(2021年7月)

- ✓ 社外の視点を反映するため設置
- ✓ 社外有識者4名で構成、サステナビリティ推進委員会に助言



東京大学
先端科学技術研究センター 研究顧問
小林 光氏
(環境面)



ESG/SDGs
コンサルタント
笹谷 秀光氏
(サステナビリティ全般)



神奈川県立保健福祉大学
ヘルスイノベーション研究科 教授
昌子 久仁子氏
(ガバナンス・事業面)



立教大学
経営学部 教授
高岡 美佳氏
(環境・社会面)

2022年3月期の主な取り組み

(環境)

- ✓ 脱炭素社会の実現に向けて
 - CO₂排出量のSBT※1設定を推進
 - 環境配慮型製品の開発を推進

(品質)

- ✓ 品質向上に向けて、NPS※2を導入

(人権・人財)

- ✓ 従業員満足度調査を実施
- ✓ 人権デューデリジェンスに着手
- ✓ 役割型人事制度の導入

※1 SBT (Science Based Target) : パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標。

※2 NPS (Net Promoter Score) : 製品・サービスへの愛着度を示す顧客ロイヤルティを測る指標。

コンプライアンスの徹底・ グループガバナンスの一層の強化

再発防止策の推進

上期

- ✓ コンプライアンス担当者の教育
- ✓ 内容充実・強化した事業所別勉強会の開催
- ✓ 人事評価項目にコンプライアンス追加
- ✓ 寄附金ウェブ申請方式の導入

下期

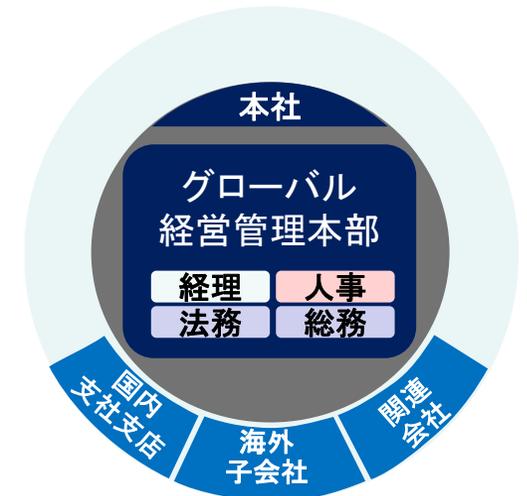
- ✓ 受注前プロセスのシステム統制
- ✓ ディーラー向けウェブシステムの設置
デューデリジェンス・法令遵守誓約・通報窓口
- ✓ ディーラー・全社員アンケート調査

グループガバナンスの強化

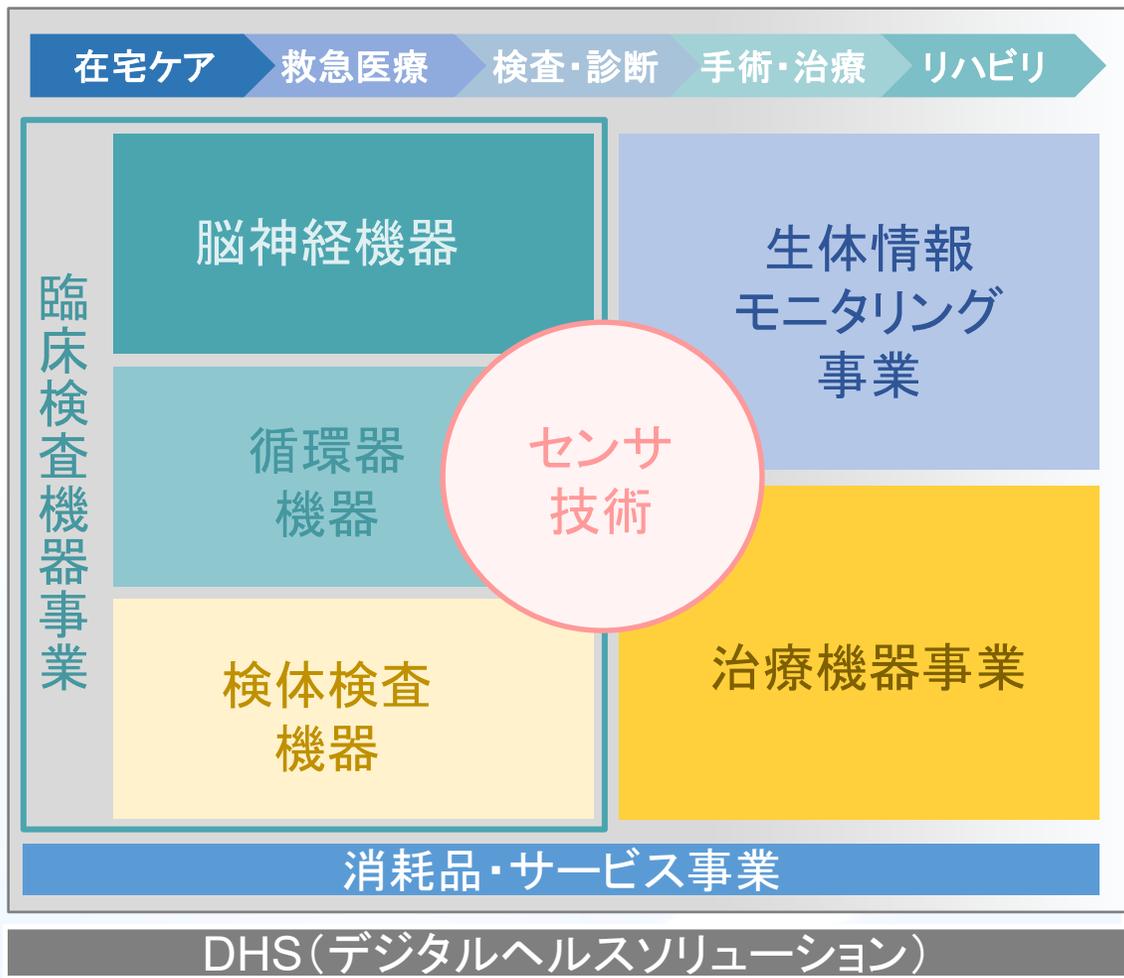
- ✓ 「グローバル経営管理ポリシー」の策定、海外子会社への浸透

経理 人事 法務 情報セキュリティ

- ✓ 国内販売における内部統制システムの強化



既存事業における収益性の改善



全事業共通施策

高い顧客価値の創造

- ・デジタルヘルスの推進
- ・サイバーセキュリティ対応
- ・医療機器リモート監視システム (MD Linkage) の拡充

生産性の向上

- ・新たな共通設計プラットフォームの構築
- ・標準化・共通化の推進
- ・ライフサイクルマネジメントの徹底

タイムリーな製品投入

- ・世界最高品質の追求
- ・開発体制、QA/RA体制の強化

高収益体質の実現

生体情報モニタリング事業

✓ 製品ラインアップの拡充、機能強化による顧客価値提案の推進

一般病棟

ICU

手術室

院内・院外



セントラルモニタ

2021年度下期国内発売予定

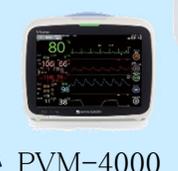
- 省スペース設計
- 視認性・操作性が向上
- ナースコール・電子カルテと連携



中位機種ベッドサイドモニタ
2021年度下期米国発売予定



BSM-1700



サイバーセキュリティ強化
2021年度予定

NEW!

筋弛緩モニタリング専用筋電図電極

2021年度米国発売

医療安全のため、
手術前後の筋弛緩
モニタリングの需要が
高まっており、生産強化



ハイ
エンド

ミドル
レンジ

ロー
エンド

治療機器事業

人工呼吸器

✓ 感染拡大地域への製品供給に注力

重症患者さん向け



気管挿管型
人工呼吸器
NKV-550



Protective Control™

- 肺保護換気機能を訴求
- 臨床エビデンスの構築
- 認知度向上に向けた取り組みを強化

中等症患者さん向け



マスク型
人工呼吸器
NKV-330



- ハイフロー酸素療法による治療を啓発
- 生体情報モニタとの連携強化



医用テレメータ
WEP-1200

✓ ディスポーザブル消耗品の拡販



SpO₂プローブ



NPPV※
cap-ONEマスク

✓ 保守点検サービスの強化

- 定期交換部品とパッケージ化
- 教育プログラムの拡充
- 医療機器リモート監視システムとテスト連携



※ NPPV(Noninvasive Positive Pressure Ventilation): 非侵襲的陽圧換気。気管内挿管や 気管切開を行わない人工呼吸管理。

検体検査機器事業

検体検査機器

✓新製品の拡販に注力

✓ドバイ試薬工場生産開始

2021年4月

NEW!

2020年度
海外発売



CIRHEX
Technology

全自動血球計数器

全自動血球計数・
赤血球沈降速度※1測定装置

MEK-1301

MEK-1302

MEK-1305



NEW!

2021年度
発売



全自動血球計数器
MEK-9200

DynaScatter Laser
+HEM488

- 新たに、青色半導体レーザと核酸染色試薬を採用し網赤血球※2測定を実現
- 試薬管理システムで、種類・使用期限を自動確認し、検査品質を安定化



※1 ESR(Erythrocyte Sedimentation Rate): 赤血球沈降速度。沈降速度が速いと結核等の感染症の可能性。主に新興国で測定されている項目。

※2 RET(Reticulocyte): 網赤血球。骨髓から末梢血中に放出された新しい赤血球で、貧血等の症状がある際に測定されている項目。

グローバル事業における戦略強化

日本：医療の質向上、医療課題の解決に向けたソリューション提案を強化

✓ 顧客価値提案の強化

医療安全 診療実績 業務効率 につながる
提案営業力の強化、サービスの拡充



医療安全 業務効率 生体情報モニタ
のアラームレポートを提供

アラームデータを
収集・分析し、
数値・グラフで
運用改善を提案



医療安全 人工呼吸器の保守点検
サービスの強化



予防保守・修理保証



2年間定額点検



人工呼吸器
NKV-330

米国：子会社6社の統合と融合による米国事業のさらなる成長

✓ 製品ラインアップの拡充



✓ 大規模ネットワークに対応したモニタリングソリューションの提案を強化



War Room

✓ 消耗品・サービス事業の拡大



SpO₂プローブ

NEW!



筋弛緩 EMG電極 NM-34シリーズ
2021年度発売

NEW!

NK NETWORK CARE



2021年度発売
院内ネットワークのセキュリティ上の脅威を24時間モニタリングし、異常検出時にサポート

生体情報モニタ



中位機種ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700シリーズ
2021年度下期発売予定

救急蘇生機器



次世代自動心臓
マッサージ装置
2021年度下期発売予定

新興国：日本・米国製、上海製の新製品の提案を強化

日本・米国製品

ハイエンド市場

救急
除細動器
EMS-1052



ICU
ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700シリーズ



人工呼吸器
NKV-330
ベッドサイドモニタ
PVM-4000



人工呼吸器
NKV-550



上海製品

ミドル&ローエンド市場

現地開発・生産

心電計
ECG-3150



NEW!
心電計
ECG-3350
2020年度発売



心電計
2022年度
発売予定

スポットチェック
モニタ
SVM-7100



ベッドサイド
モニタ
SVM-7500



NEW! 中国市場向け現地開発
検体自動搬送システム



白血球5分類とCRP※1を測定
2021年度発売

中国市場向け現地生産

除細動器
TEC-5600



AED
AED-3100



NEW!
ベッドサイド
モニタ
BSM-3000
2021年度発売



NEW!
血球計数器
MEK-9100
2021年度発売



中国・中南米 PAD※2市場拡大

2017年～ 中国、コロンビア、2020年～チリ

- ✓ 公共施設へのAED設置が拡大
- ✓ AEDの普及啓発、講習会に注力



ブラジルトップ病院で 生体情報モニタ商談受注

- ✓ サンパウロ近郊で直販・サービスを強化
- ✓ アインシュタイン病院のICU商談を受注



※1 CRP(C-Reactive Protein):C反応性蛋白。

※2 PAD(Public Access Defibrillation):一般市民によるAEDを用いた除細動。

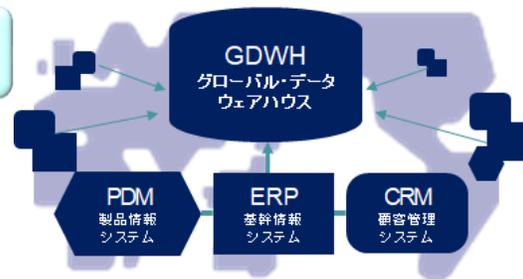
グローバルSCMの構築・ コーポレート主要機能の強化

グローバルSCMの構築

✓グローバル情報基盤を整備

商談機会損失の低減

在庫の適正管理



✓部品供給のひっ迫への対応

部品の事前発注

複社購買



コーポレート主要機能の強化

✓社内ITシステムの サイバーセキュリティ強化



✓製品のライフサイクル全体で、 最新の法規制への対応を強化

環境規制対応

市販後マーケティング調査

経営目標値(2024年3月期)

売上高	1,970億円
国内売上高	1,340億円
海外売上高 (海外売上高比率)	630億円 (32.0%)
消耗品・サービス売上高比率	48%以上
売上総利益率	50%以上
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	138億円
ROE	10%

地域別海外売上高

米州	320億円
欧州	100億円
アジア州他	210億円

3カ年計画

研究開発投資	200億円程度
設備投資	140億円程度

想定レート: 1米ドル=102円、1ユーロ=124円

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の企業成長
に向けた投資

- ・ デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- ・ コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究
開発



設備
投資



M&A
提携



人財
育成



配当

長期安定配当を
継続

目標:連結配当性向
30%以上

自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に検討

21/3期 年間配当金: 55円(特別配当20円を含む)
自己株式取得: 14.9億円

(配当性向: 25.7%)
(総還元性向: 33.9%)

22/3期 年間配当金: 39円
(予想) (配当性向: 18.9%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003